

外国語分科会

I 研究のあゆみ

4月22日(火)	2025年度名教組教研オリエンテーション (2025年度名教組教育研究活動の進め方)	【教育館】
5月1日(木)	研究の方向性報告・集約	
5月24日(土)	研究計画の検討	【前津中】
5月下旬～7月下旬	全体での会は開かなかったものの、個別に指導	
8月27日(水)	レポート・市集会発表内容の検討(リハーサル)	【前津中】
9月20日(土)	第75回名古屋市小中特別支援学校教職員教育研究大会	【ウインクあいち】

II 研究協議の概略

- 主体的にコミュニケーションを図ろうとする小学校中学年の児童の育成(3本)
- 英語で自分の考えや気持ちを伝え合うことができる小学校高学年の児童の育成(5本)
- 英語で自己表現できる中学校の生徒の育成(10本)

小学校中学年の外国語活動では、英語に慣れ親しみ、楽しくコミュニケーションを図ることをめざして外国語学習の環境づくりやゲーム性を工夫した実践が、小学校高学年の外国語では、やり取りをする力の育成をめざして、small talkのトピック、目的・場面・状況の設定を工夫し、単元を通じた指導実践が多く行われた。また、中学校では、自分の気持ちや考えを表現する知識・技能を身に付け、それを基に、目的・場面・状況に応じた英語を、思考・判断して表現する力の育成をめざした実践が多く行われた。

印象的だったのは、ICT機器やワークシートを活用して伝えたい内容を整理し、可視化させたり、自分の考えや気持ちを伝える言語活動につなげるために、必要な語彙や表現をインプットさせたりする実践が複数見られたことである。特に、実践後に「自分の英語が伝わった」「もっと英語で話したい」と児童生徒が英語を使うことに自信をもてるようになった様子が見られる報告が多く、大変意義深かった。それぞれの実践が、もっと英語を学びたいと感じ、児童生徒が英語の学びに対して夢中で使いたいという意欲向上につながっていることが感じられた。

III 今後に残された課題

- 小学校での外国語活動・外国語と中学校での英語の学習の接続を踏まえた指導方法の研究
- 4技能5領域(「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「書くこと」)それぞれの言語活動及び、複数の技能を統合的に活用した活動の効果的な指導方法の研究
- ICT機器、学習者用デジタル教科書を効果的に活用した指導方法の研究